



かのやメタバース婚活

▲メタバース空間内の画面。実際にアバターを動かしながら会話し、カップルが成立した場合は実際に会う「リアルデート」に進むことができる。7月開催予定。



地方創生伴走型支援制度

▶5月に行った、地方創生支援官の3人が現地訪問している様子。RINA BASE+で、地元の新規事業者との意見交換等を行いました。

Interview

移住してから増えた 家族で過ごす大事な時間

神田 幸祐 さん・里穂 さん（申良町岡崎）

幸祐さんは錦江町、里穂さんは申良町出身で、昨年の3月に埼玉県所沢市から申良町岡崎にUターン。9歳と4歳の男の子と一緒に暮らす。幸祐さんは鉄道関係、里穂さんは介護関係の仕事をしていた。



都会と鹿屋での暮らし

広報 昨年Uターンされたとのことですが、帰ってくるきっかけは何だったのでしょうか。

里穂さん 一番はやはり子育てのためです。結婚して埼玉で子育てをしていたのですが、どうしても希薄になる地域との関わりであったり、保育園に入ることができなかったり、子育ての面で大変さを感じました。

広報 鹿屋での暮らしはどうですか。
幸祐さん 私は東京まで毎日片道2時間かけて通勤していた、夜勤もあつたのであまり家にいることができませんでした。今は職場も近く朝晩に余裕ができたので、子どもたちと過ごす時間を多く取れるようになったのも大きいです。

里穂さん 帰ってきてからは保育園に入ることもできて、身近に家族もいるので親戚の集まりにも楽しく参加できています。育児のサポートの面でもとても助かっています。



鹿屋の暮らし

広報 子育ての面以外で、帰ってきて感じた鹿屋の良さはどのようなところでしょうか。

里穂さん 人のあたたかみと食材のおいしさは特別だと思っています。埼玉では食材をわざわざ送ってもらっていました。

幸祐さん 田舎の当たり前が都会では当たり前ではないことに気付かされました。お出掛けでも渋滞を気にする必要もないし、祭りやイベントもたくさんあるので、家族でレジャーをしっかりと楽しむことができます。

広報 本市が若者と女性に選ばれるためのポイントは何でしょうか。
幸祐さん 給与の面で地域と都会では差があると感じますが、子育てのしやすさは都市部の人にとっては魅力です。もともと全面でPRすれば効果があるのかなと思います。



▲小学1年生の時に転校した長男の祐太さん。「学校の友達と遊ぶことが多くなって、楽しい」と話してくれた。

令和7年度新事業& 国と連携して課題解決

人口減少対策として令和7年度から取り組む事業の一つに「かのやメタバース婚活事業」があります。これは、アバターと呼ばれる自分の分身を使って、インターネット上の仮想空間である「メタバース空間」内の相手と会話する内面重視の婚活です。遠方の自宅からアクセスができること、顔を見ずに会話から関係性を築くことで価値観や安心感が先行しやすい等のメリットがあります。対談でもあったように「価値観の合う」人たち同士のマッチングを目指しています。

また、今年から鹿屋市は「地方創生伴走型支援制度」の対象自治体に選ばれました。この制度は、国の職員が経験を生かして、課題を抱える自治体に寄り添った伴走支援を実施するものです。「若者・女性にも選ばれるまち」をテーマに、本市でのヒアリングや現地調査などを経て、令和8年度に向けた事業を構築します。

若者と女性を念頭に 地域の魅力を考える

都市部の女性と移住者への取材を通じて「都市は自分の目指すキャリアを叶えられるという良さがある」という意見や「鹿屋は子育てしやすい環境で魅力的」といった意見がありました。この結果は移住や定住先を考えるとき、「仕事」「家庭」「暮らし」など、どこに重点を置くか、個人の価値観が大きく影響することを示しています。もちろん、都市部と本市では生活環境が大きく異なりますが、価値観が多様化する今こそ都市部との違いが大きな魅力になるのかもしれない。

人口減少を解決するためには鹿屋の特性を生かし「地元に戻りたい」「ここで子育てしたい」と思えるまちづくりに取り組みとともに、鹿屋の魅力を地域内外にしっかりと情報発信していくことが重要になると考えています。行政だけでなく事業者や市民の皆様と課題を共有し、一緒に取り組むことで、「若者や女性にも選ばれるまち」に変わっていくのではないのでしょうか。

information

「かのやで暮らす移住応援金」で最大100万円の給付



県外から本市に移住・就業した人に移住応援金を給付しています。

- **共通要件** 直前の住所が連続して3年以上鹿児島県外にあり、令和7年4月1日以降に本市に転入した人で、申請日から5年以上継続して本市に居住する意思を有す人
- **就業要件**
 - 鹿児島県就職情報提供サイト「かごジョブ」に掲載されている市内企業に就業すること
 - テレワーク就業をしていること

○ 本市の創業支援事業を活用して起業すること等

※他の要件などの詳細は市ホームページに掲載

● **支援金額** ※上限100万円

単身世帯	10万円
2人以上の世帯	20万円
18歳未満の世帯員1人につき	30万円加算

● **申請** 市地域活力推進課へ申請書等を提出

※様式は市ホームページに掲載

📍 市地域活力推進課 TEL 0994-45-6930